

## 一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 RSウイルス感染症の重症化を予防するための取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 妊婦向けRSウイルスワクチンの情報提供体制</li> <li>(2) 接種に関する正確な周知・啓発の取り組み</li> <li>(3) 妊婦健診や母子保健事業との連携</li> <li>(4) 高齢者向けRSワクチンへの今後の公費助成や支援制度導入の可能性</li> </ul>	町 長
2 電子商品券活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 電子商品券型支援制度の導入に対する認識と評価</li> <li>(2) 高齢者など、デジタル弱者への配慮を含めた運用設計の可能性</li> <li>(3) 紙商品券方式との併用など、選択制モデル導入の可能性</li> <li>(4) 今後、電子商品券型生活者支援制度の導入検討を進めていく考えがあるかどうか</li> </ul>	町 長
3 つつじ台区の町下水道移管に向けた進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ゴールが見える工程表（ロードマップ）について、現在の作成状況</li> <li>(2) 自治会員をはじめ、非会員、アパート居住者、事業所などを含めた住民説明会の実施と、円滑な合意形成に向けた町の支援について、どのように取り組んでいく考えか</li> <li>(3) 検討状況や進捗を住民が継続的に把握できるような、定期的な情報提供体制の構築について、町の考えと今後の対応方針</li> </ul>	町 長
4 住宅宿泊事業(民泊)等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 住宅宿泊事業者の届出状況について、現在どのような実態把握を行っているのか</li> <li>(2) 届出を行っていない不法民泊の有無の把握状況と、その対応方針</li> <li>(3) 不法民泊が確認された場合の、県との連携体制および是正指導・対応の流れ</li> <li>(4) 現地に管理者が常駐していない物件における、周辺住民が連絡可能な緊急連絡先の掲示義務、管理責任者の明確化、現地確認体制についての認識と対応方針</li> </ul>	町 長

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>(5) 今後、外国人滞在者の増加を見据えた、地域住民との共生を前提とした民泊ルール整備・運用指針の策定についての考え方</p>	

## 一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 インクルーシブなまちづくりに向けた大津町の方針と、医療的ケアが必要な子どもへの支援体制について	<p>医療の進歩により、人工呼吸器や胃ろう等の医療的ケアを必要としながら地域で生活する子どもが増加している。</p> <p>国は医療的ケア児支援法を制定し、自治体に対して地域における支援体制の整備を求めている。</p> <p>こうした中、大津町として、障がいの有無や医療的ケアの必要性にかかわらず、すべての子どもが地域で育ち、学び、生活できる「インクルーシブなまちづくり」をどのように位置付け、今後どのように推進していくのかを問う。</p> <p>あわせて、町内における医療的ケアが必要な子どもの実態把握、保育・教育現場での受入体制、医療・福祉・教育・防災分野の連携の現状と課題を整理し、関係機関が横断的に協議・調整する「医療的ケア児支援に関する協議の場（委員会・連絡会）」を町として設置する必要性について町の見解を問う。</p>	町 長
2 勤労学生（准看護学生）への公的奨学金・就学支援制度の創設について	<p>近年、大津町および周辺地域では、医師会立看護専門学校等に通いながら、町内外の病院・クリニックで勤務する勤労学生（准看護学生）が一定数存在している。特に、シングルマザー世帯の学生が増加しているとの現場の声もあり、学費負担と生活費を同時に抱えながら、低賃金で看護補助業務に従事せざるを得ない状況が見られる。</p> <p>一方で、介護職は比較的早期に収入を得やすい構造にあり、将来的な医療人材である看護師養成が進みにくいという課題がある。このままでは、町内医療機関における看護師不足が深刻化し、診療体制の縮小や、最悪の場合は医療機関の閉院につながるおそれもある。</p> <p>また、町内の多くのクリニックは経営的に余裕がある状況ではなく、勤労学生に対して一般企業並みの給与水準を確保することが難しいのが実情である。</p> <p>そこで、看護人材の育成を個々の医療機関の努力に委ねるのではなく、町として将来への投資として支援する観点から、勤労学生（准看護学生）を対象とした大津町独自の公的奨学金・就学支援制度の創設について、町の認識および今後の検討の方向性を問う。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3 スポーツ振興における大津町の将来像と方向性について</p>	<p>第6次大津町振興総合計画において、スポーツは単なる競技や健康づくりにとどまらず、観光・交流・地域振興と結びつける施策として位置付けられている。しかし、第7次大津町振興総合計画において、スポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、まちづくり、国際交流、関係団体等と連携した取り組みを進めるとの方針である。</p> <p>一方、近隣自治体においては、野球場整備やスケートボード施設整備など、交流人口の増加や若者・来訪者を意識したスポーツ施策が進められている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、大津町として、今後スポーツ振興をどのような町の将来像につなげていくのか、健康づくり、交流人口の拡大、観光振興、地域活性化といった観点から、町としての明確な方向性を確認する。</p> <p>あわせて、既存スポーツ施設の活用方針や、今後重点的に取り組むべきスポーツ振興施策の考え方について問う。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 村山 龍一 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 町の将来像について	<p>金田町長が就任され、2期目となっている。県内の市町村で、嘉島町の荒木泰臣町長は、町会議員を1期し、町長を10期された。長く町長を勤められたから、今の嘉島町のまちづくりはできあがったと思う。金田町長も、町会議員を2期され、町長を長く経験することが可能であり、40年後の大津町のまちづくりを担うことができる。長期のまちづくりについて町長の考えを問う。</p> <p>(1) 将来推計人口では、19年後の令和27年には、41,365人。44年後の令和52年には、38,686人と予測されているが、町をどのような方向でまちづくりを進めていくのか。</p> <p>(2) 将来の肥後大津駅周辺はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 将来の中九州横断道路、国道57号や325号など主要道路の沿線はどのように考えているのか。</p> <p>(4) 北部・南部・中部それぞれの将来像はどのように考えているのか。</p>	町 長
2 町の定住促進について	<p>令和6年6月議会で、同僚議員から定住促進補助事業制度を創設し地域の活性化に寄与すべきではないかと質問があり、「住宅への補助だけでなく、町全体としての魅力を出すための幅広い取り組みが必要だと考えておりますが、既に制度化されている移住支援金による移住促進も行いながら、菊陽町定住促進補助金制度などの制度も参考に、町外への転出抑止という観点からも、両校区への移住につながる取り組みの検討を進めていきたいと考えています。」と答弁があった。その後の取り組みについて町長の考えを問う。</p> <p>(1) 移住支援金を北小と東小校区に限定したが、実績はどうなのか。</p> <p>(2) 菊陽町定住促進補助金制度などを参考にどのような対策を行うのか。</p> <p>(3) 未就学児が小学校へ入学する時に、町内の小学校への入学が減っているのではないか。その実績はどうなっているか。減っている場合の対策はどのように行うのか。</p> <p>(4) 菊池市や県内の自治体でも同様に定住支援制度があり、それぞれ定住促進を行っているが、大津町独自の考えはないのか。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 村山 龍一 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	(5) 定住促進補助金だけでは移住促進や転出抑制にはならないと考えるが、その他の取り組みについての考えはないのか。	

## 一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 町民グラウンドの整備について	<p>昨年9月議会で町民グラウンドの状況について整備の必要性を指摘し、12月議会ではBコート改修の予算が計上された。しかし、現在利用頻度が高いのはAコート、Cコートである。個別施設計画では令和9年度にコート改修となっているが、グラウンドの状況は大変危険な状況であり、利用者からも早急な改修整備を望む声が高まっている。</p> <p>個別施設計画の中で改修することも理解できるが、利用者の安全を確保する上で、早期の改修をするべきではないか。</p>	教育長
2 まちづくり町民懇談会について	<p>毎年行っている町民懇談会について、参加者も固定化し、マンネリ化していると感じる。</p> <p>今後は、開催方法についてしっかりと考える必要があるのではないか。</p> <p>また、職員の参加が多いが、自発的に参加しているのか。</p>	町長
3 中学校部活動の地域移行について	<p>令和5年度から今年度までの3年間、改革推進期間として移行を目指してきたと思うが、3年間でどのような取り組みを行い、どのような成果や課題があり、どう解決していくのか。</p> <p>また、令和8年度からはどのような形態で部活動が行われるのか。</p>	教育長

## 一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 阿蘇くまもと空港から中間駅経由で大津町の国道57号まで第3の空港線を	<p>アクセス鉄道の沿線に取付道路があるが、その取付道路を国や県に対して、空港地下トンネルの渋滞対策も考えて、阿蘇くまもと空港から大津町の国道57号まで4車線道路として強く要望すべきだ。下記の点について、町長に問う。</p> <p>(1) 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道沿いの道路整備を第3の空港線として整備を</p> <p>(2) 中間駅を利用した多目的駐車場の整備を行い、パークアンドライド等の利便性を考えてはいかがか</p> <p>(3) 南部地区の開発を促進する道路整備の位置づけを考えるべきだ</p>	町 長
2 大津町の山林や田畑や住宅地を守る対策をすべきだ	<p>日本全国で、投資目的のための土地購入のニュースを新聞、テレビやネットで聞いていたが、昨年、我が地元の内牧区で、それも農家にとっては一番大事な畑井手の取り入れ口近くの30aを外国人が太陽光発電の設置をするため、購入したいと不動産を通じて打診があったが、地主は話を聞き、今回は断ったと言われていた。TSMC工場近くの大津町の土地がターゲットにされていると感じるため早急に対策をすべきだ。下記の点について、町長に問う。</p> <p>(1) 土地売買の規制について、国に強く要望すべきだ。町の対策は</p> <p>(2) 投資目的の外国人による建物や土地の購入後の管理について、空き家や耕作放棄地がトラブルにならないように指導すべきだが町の対応は</p>	町 長
3 中学校、幼稚園や保育園の給食費無償化を町独自で取り組むべきだ	<p>施政方針の中で、国補助金を活用した小学校給食費の無償化をすると述べられたがまだ中学校、幼稚園や保育園の無償化は取り込まれる予定はない。保護者のためにも、大津町に住んでもらうためにも中学校、幼稚園や保育園の給食費無償化を町独自で取り組むべきではないか。</p> <p>これから大津町に住もうと思う子育て世代や若年層にとって幼稚園や保育園の給食費無償化は非常に魅力あると思う。</p> <p>また、中学校に通わせる保護者にとっても、小学校の給食費無償化が始まるのであれば中学校の給食費の無償化を期待されているのではないか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 清原 さおり 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 日本版DBS（子ども性暴力防止法）施行に向けた大津町の準備体制について</p>	<p>本年12月に、日本版DBS、いわゆる「子ども性暴力防止法」が施行される。子どもと日常的・継続的に関わる業務に就く者について、性犯罪歴の有無を国のデータベースで確認し、子どもへの性暴力を未然に防止することを目的とした制度であるが、施行まで1年を切り、対応は待ったなしである。</p> <p>各自治体も実務対応が求められる中、大津町としての認識、実施体制、実務運用、関係者への説明・研修、相談・支援体制の整備状況を確認するとともに、今後の子どもの権利・安全を守る町の姿勢について所見を問う。</p> <p>(1) 体制整備について</p> <p>①本法への対応について、大津町としての主管部署はどこか。</p> <p>②庁内の連携体制はどのように構築する予定か。</p> <p>(2) 実務面について</p> <p>①町として、認定対象事業者の想定範囲はどこまでか。</p> <p>②国のデータベース照会、本人同意、情報管理等について、町として運用方針を示す考えはあるか。</p> <p>③個人情報保護制度との関係について、町としてどのように整理しようとしているのか。</p> <p>(3) 関係者への説明、研修、相談・支援体制について</p> <p>①町として、施設職員、関係者、ボランティア等に対し、制度の趣旨や運用について説明する機会を設ける予定はあるか。</p> <p>②職員・関係者向けの研修の実施計画や施行までのスケジュールはあるのか。</p> <p>③不安や疑問、運用上のトラブルが生じた場合の相談窓口や支援体制を整備する考えはあるか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 大村 裕一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 食農教育について	<p>食育基本法が2005年に制定され、食は「知育、徳育、体育の基本」と位置付けられ、国、地方公共団体、学校、保育所、地域が連携し、様々な取り組みが「食育」として実践されてきた。また、JAグループにおいても前述した食育と農業を掛け合わせた「食農育」が提唱され、普段口にする野菜の名前が分からないなどの知識不足だけでなく、子どもの朝食欠食や、コミュニケーション無く一人で食事をするいわゆる「孤食」などの課題解決のため地産地消の取り組みや農業体験、親子料理教室、市民菜園、バケツでの稲づくり、作文図画コンクールなどが行われている。</p> <p>さらに、この「食農育」は食や農業を身近に見ることによる「選食力」の向上や農業の持つ多面的な価値への理解などの副次的な効果も期待できる。</p> <p>町としてこの「食農育」を推進すべきではないかと考えるが町長、教育長の考えを問う。</p>	町 長 教 育 長
2 物価の上昇に伴う町の動きについて	<p>2022年ごろから年2%強で続いている物価上昇に伴い、町内の様々なセクションで課題が出てきている。そういった状況を踏まえ、下記の3点を町長に問う。</p> <p>(1) 行政嘱託員等の成り手不足は報酬等が低いことが主な原因ではないのか。</p> <p>(2) 地域学校協働活動に対して町から支出しているお金は十分に足りているのか。</p> <p>(3) 専決事項の金額の見直しを行うべきではないか。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 陣内踏切問題	<p>阿蘇くまもと空港アクセス鉄道が開業すれば、肥後大津～熊本アクセス鉄道間・片方向普通/47本・快速14本合わせて61本の列車が走行する。豊肥線と合わせて162本の列車が走行する予定であり、肥後大津下り方の陣内踏切では朝夕の通勤時間帯に大渋滞が発生する恐れがある。朝7～8時台のラッシュ時、1時間に約12本の列車が走る可能性がある。その場合、5分間隔で列車が発車し、18分から最大で24分、1時間のうちに20分前後陣内踏切が閉まりっぱなしになる計算。想定される悪影響は、踏切事故・慢性的渋滞・救急車遅延・苦情増加等が起きる可能性が高く、立体交差化の議論が起こる水準である。以上を踏まえ、この問題をどのように解決するのか、町長の見解を問う。</p>	町長
2 部活動におけるハラスメントについて	<p>町内の学校において、部活動の外部指導者が生徒に対し人格を否定する発言を繰り返すハラスメント事案が発生していて、教育委員会に相談するが半年以上経っても正式な回答がないとの相談を受けた。被害を受けた生徒は、指導者が来る日は強い不安を感じ、登校したくてもできず、頭痛や吐き気など身体の症状が出る深刻な状況に陥っているようだ。</p> <p>また、顧問教師に相談しても十分に受け止めてもらえず、不安感や恐怖心を抱いている状況とのこと。このことは、生徒を守るべき立場にある教師の対応について大いに見過ごすことのできないものとする。</p> <p>そもそも大津町では、年間200人以上の子どもたちが不登校となっており、その数も年々増加していると聞いている。このような状況下で学校側の不適切な対応が不登校をさらに助長するようなことになってはならないのではないかと。</p> <p>以上を踏まえ、教育委員会として学校及び教職員に対し、ハラスメント防止に関する適切な指導をどのように講じていくのか。また、職務怠慢と言われない速やかな対応及び再発防止をどう徹底していくのか教育長の見解を求める。</p>	教育長

## 一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 三吉原北出口線道路補修について	以前、道路補修を実施すると答弁をもらった三吉原北出口線の道路改良工事について、J A S Mの進出等により交通量の増加の影響で、三吉原北出口線沿線住民は渋滞はもちろん振動や騒音に以前に増して悩まされており、振動により外壁にひび割れ等が進行しており、一刻の猶予もない。10 トンダンプが道路に及ぼす衝撃は普通車の1万台以上に相当すると言われており、早急に国道並みの道路補修や薬液注入工法等の地盤改良工事が必要ではないか、またドラッグストア～大津翔陽台間の町道(通学路)の整備の進捗状況を伺う。	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 外国にルーツを持つ子ども及び保護者の日本語習得の把握と習得支援の仕組みづくりについて	町内の学校に在籍する外国にルーツを持つ児童生徒について、日本語指導支援員の配置は行われているが、習得状況がどの程度把握されているのか。また、十分な時間確保ができていないのかは明確ではない。さらに日本語習得は子どもだけの課題ではなく、保護者の日本語理解が不十分である場合、学校との連絡や行政手続き、進学相談等に支障が生じる可能性がある。外国にルーツを持つ子どもと保護者が地域で安心して生活し、将来にわたって自立できる環境を整えるためには、単発的支援ではなく、日本語習得を体系的に支える仕組みづくりが必要と考えるが町の考えはどうか。	町 長 教 育 長
2 介護認定における申請から決定までの期間短縮と、広域連合との連携強化による事業効率化について	高齢化に伴い、介護認定申請件数は増加が見込まれる中、要介護認定は原則30日以内に行うこととされている。介護認定の流れは「1. 町への申請 2. 認定調査（町実施）3. 主治医意見書の取得 4. 広域連合による認定審査会 5. 町による決定通知」という段階にわかれており、町と広域連合双方の連携が不可欠である。私は先の広域連合議会において「認定審査会の効率化のためのオンライン開催」を提案したところである。しかし、認定審査会のみならず、申請から決定通知までの全体の流れを効率化することが住民サービス向上の観点から重要であると考え。よって、町としての現状と今後の改善方針を問う。	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番  
 通告者 岩下 啓史 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 昭和園リニューアル事業は町民との協議の上計画すべきではないか</p>	<p>(1) 現在の昭和園リニューアル事業、公園整備の内容はどのようなものか                      (2) 前回の町民説明会では広場再整備ゾーンの計画は、整備してインクルーシブ遊具を作るということであったが、その理由を尋ねる                      (3) 遊具を作る、木々を伐採するなどせずとも、未満児にとってのリスクと感ずるような場所は避け、危ない場合は園庭で遊ぶなどして現場の危機管理によりリスクを回避できるのではないか                      (4) 町として、昭和園の再編と認定こども園の建設を町民や昭和園利用者も混せて、大規模に一緒に作っていく検討をしていく気はないのか                      (5) 昭和園の歴史や町が進めたきたつつじ祭りの文化、そこに根付く町民の感情や思い出にも寄り添うという姿勢を町民に示すことではないのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 一刻も早く0～2歳児の保育料無償化を</p>	<p>(1) 現状、0～2歳児の第一子、第二子世帯への保育料無償化にはなっていない                      (2) 現在の未満児にかかる保育料の制度では、おおよそ年収300～450万世帯の層が最も可処分所得に対し経済的負担割合が高く、生活費の大きな重しになっていると考えられる。この現状に対し、どのように認識しているのか。                      (3) 大津町の現在の人口動態を鑑みても子育て世代への魅力や福祉を増進し、育児に優しい大津町を作ることが求められているのではないか                      (4) 未満児の保育料無償化にかかる予算はいくら程度か                      (5) 一刻も早く0～2歳児の保育料無償化を強く求める</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 11番  
 通告者 面川 秀貢 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 町内事業者の活用による 庁舎・中央公園の利便性向上と地域活性化について	庁舎敷地内での販売について、職員・来庁者の利便性向上や町内事業者支援の観点から、町内飲食事業者の出店を認めるべきではないか。また、中央公園ではゾロ像効果により来訪者が増えていることから、一定のルールのもとキッチンカー等の出店を認め、賑わい創出と地域活性化につなげる考えはないか。	町 長
2 肥後大津駅周辺整備を見据えた南口閉鎖時間帯の南北通行確保に関する課題について	肥後大津駅では最終便後から始発まで南口が閉鎖され、南北通行ができない。夜間の迂回や急ぎ足による事故の懸念もある。列車が運行していない時間帯に、南口を完全閉鎖する必要性について見直す考えはないか。	町 長
3 地域通貨（ポイントカード）システム導入による給付事務の効率化と地域経済活性化について	給付金や商品券配布に伴う事務負担や迅速性の課題が続いている。高森町のような地域通貨（ポイントカード）制度を導入し、給付事務の効率化と地元商店の利用促進による地域活性化を図る考えはないか。	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 12番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 空港アクセス鉄道第3セクター本社誘致について	昨年10月31日、県は鉄道事業者と合同で空港アクセス鉄道の運営は上下分離方式で行うとの発表し、現在町も参酌している仙台空港鉄道と同様の流れになっている。かつて仙台空港鉄道株式会社は宮城県庁の近傍にあったが建設が進むにつれ本社所在地を名取市に設置した中間駅に移転をしている。町発展への波及効果は必ずある。町長の考えを伺う。	町 長
2 町村合併70周年におけるシティプロモーションについて	町村合併70年を迎える節目であるが、町の魅力を最大限に生かし、新たな取り組みも立ち上げながら大きくPRしていく絶好の機会を迎えている。各種イベントの強化を行い賑わい、活力がある地域づくりはすでに提案されている当初予算案からもおおいに汲み取れるところもあるが、町長から積極的に発信して頂きたい。すでに議員側からもアプローチさせていただいている事業も含め令和8年度のシティプロモーションの計画を伺う。	町 長
3 ノイジーマイノリティや反対活動家への対策について	住民説明会や懇談会、パブリックコメントやアンケートの収集は町の政策決定への方向性を慎重に判断し住民が求める自治の体現に非常に有効な方法であることは承知している。他方、町長が示す施策に対案もなく反対しあるいは実行不可能な提案を長時間にわたり迫るノイジーマイノリティや反対活動家は町の方向性を誤る原因である。対策を伺う。	町 長